

信州大学医学部附属病院 脳神経外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年11月11日

「開頭術後髄液漏に対するラグビーヘッドギア圧迫法に関する後方視的研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5343
研究課題名	開頭術後髄液漏に対するラグビーヘッドギア圧迫法に関する後方視的研究
所属(診療科等)	脳神経外科
研究責任者(職名)	荻原利浩(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認後～2025年12月31日
研究の意義、目的	開頭術後髄液漏に対するより低侵襲な治療法としてラグビーヘッドギア圧迫法の有用性、安全性を確立することを目的としています。本法は、開頭術後髄液漏の治療方法として、ラグビーヘッドギアを着用し頭部全体を圧迫することで、髄液漏の修復を図る低侵襲で安全な治療法です。開頭術後髄液漏に対する治療法の発展に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2016年1月1日から2025年12月31日の期間に当院で開頭術後髄液漏に対してラグビーヘッドギア圧迫法による治療を受けられた方または受けられる方
利用する診療記録	年齢、性別、疾患名、手術部位、手術法、手術回数、術前放射線照射の有無、硬膜再建の方法、骨形成の有無、硬膜形成使用デバイス、腰椎ドレナージの有無、穿刺吸引の有無、ヘッドギア装着期間、治療前後貯留髄液量、直達手術の有無
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集しラグビーヘッドギア圧迫法の有用性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学および関連施設で実施されます。
問い合わせ先	荻原利浩(脳神経外科・講師) 電話:0263-37-2689

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。